

平成30年5月8日
東北電力株式会社

女川原子力発電所2号炉 指摘事項に対する回答一覧表
(津波PRA)

No	分類	項目	審査会合日	回答
1	指摘事項	津波高さ O.P. 30.3m 以上の寄与が大きいため、浸水により可搬型設備が使用できず、交流動力電源が 24 時間使用できない場合について、対策の考え方を整理すること。	H29. 11. 30	第545回審査会合（平成30年2月8日）において、防潮堤を越える津波への対策の考え方について説明済。 年超過確率 10^{-7} オーダーの津波（O.P. 33.9m）に対して全交流動力電源喪失の発生を防止するため、補機ポンプエリアに0.6m（補機ポンプエリア基礎高さ0.2m＋浸水防止壁0.4m）の高さとなる様に浸水防止壁を設置する。 （資料1-2-2にて回答）
2	指摘事項	モバイル保管場所の考え方についてアクセスルート審査で説明すること。	H29. 11. 30	第545回審査会合（平成30年2月8日）時点の保管場所に加え、新たにO.P. 13.8mの箇所に保管場所を設定し、可搬型設備の分散配置を強化する。 （資料1-2-3にて回答）
3	指摘事項	除熱機能喪失後のモバイル対応について詳細シナリオを説明すること。	H29. 11. 30	除熱機能喪失後の可搬型設備の成立性を確認している。 （資料1-2-3にて回答）
4	指摘事項	常設ポンプの駆動源として直流電源を選定した理由を説明すること。	H30. 2. 8	配置成立性、サポート系の必要数を考慮し、直流電源駆動を採用した。 （資料1-2-2にて回答）

No	分類	項目	審査 会合日	回答
5	指摘 事項	復水貯蔵タンクの越流津波に対する健全性を説明すること。	H30.2.8	津波高さ0.P.33.9mの敷地内 氾濫解析の結果、復水貯蔵タ ンク周囲の浸水深は最大 0.18mであり、復水貯蔵タンク 遮蔽壁（壁厚0.5m）に影響を 与えるものではない。 （資料1-2-3にて回答）
6	指摘 事項	変更後の保管エリアが1ヶ所に集中している のではないか。設計上の想定を超える外部事象 に対する保管エリアの設定の考え方を整理し て、説明すること。	H30.2.8	第545回審査会合（平成30年2 月8日）時点の保管場所に加 え、新たに0.P.13.8mの箇所に 保管場所を設定し、可搬型設 備の分散配置を強化する。 （資料1-2-3にて回答）